

## 茨城県文化プログラム推進事業

## 1 事業目的

2019年の国体、2020年のオリパラという2つの大きなスポーツの祭典を契機に、子どもたちをはじめ、多くの県民の参加による茨城ならではの文化プログラムを実施し、本県の魅力を国内外に広く発信する。

## 2 平成30年度の事業内容

## (1) 県民企画公募型事業

- ・ 県民、地域の文化施設で活動する文化団体等から県民文化センター等を活用し、本県文化の魅力発信する文化プログラムの推進を見据えた文化活動の企画を一般、学生の2部門から公募。
- ・ 応募件数 32件（一般の部21件、学生の部11件）3件表彰。

提案者	提案概要
大森春歌	○県内各所における写生会の開催 ・ 写生は対象を深く観察するものであり、県内各所における写生を通して、茨城の名所を見つめ直す機会とする。
スタジオサカ	○茨城のヒーローをテーマとした写真展の開催 ・ オリンピックを契機とした国際相互理解と、茨城県の文化や観光資源を再認識するため、写真展を開催する。
山崎信正	○シャボン玉をテーマとした祝祭イベントの開催 ・ 野口雨情作詞「シャボン玉」は、子供を儚く淡いものに例えたものである一方、希望と平和への希求が表現されている。 ・ シャボン玉を希望の象徴として、子どもたちによるシャボン玉を飛ばす催事、シャボン玉アートパフォーマンス等を実施する。

## (2) 平成29年度企画公募における優秀提案の事業化（91件の応募から3件選定）

## ①リボーン・アートボール2020展

## (ア) 趣旨・目的

捨てられる運命にあるボールをアートの力で再生（リボーン：Reborn）させ、スポーツとアートが一体となった「アートボール」の創作と鑑賞を通して、先進的で創造的なアート・ムーブメントを体感する機会を提供する。

## (イ) 事業内容

- ボール制作体験をするワークショップを県内5か所で開催。  
（日立市、古河市、土浦市、神栖市、水戸市）
- ワークショップの好評を受けて、さらに5か所で追加開催。  
（水戸ホーリーホック、茨城ロボッツ、つくばユナイテッドサンガイア各試合会場）

## ○ボール×ボウル展 in 笠間

- ・ボール（球）とボウル（器）を約 350 個展示する展示会を開催。
- ・県陶芸美術館，10月17日（水）～21日（日）
- ・いばらき大使「渡辺裕之」「岡部麟」制作のボールを展示。  
県内芸術家「戸田浩二」（笠間市）、「森岡慎也」（取手市）の作品を展示。

## ○スポーツと文化に関する講演会を開催。

- ・内容 上記展覧会期間中（21日）に講演会を開催。
- ・出演者 大林素子（元バレー選手），中谷日出（なかやひで NHK解説委員）  
太田圭（筑波大学芸術系長），須賀雅子（元TBSアナウンサー）

**②茨城の民話を味わおう。茨城の民話を世界の言葉で聴こう**

## (ア) 趣旨・目的

茨城県の各所に伝わる民話をインターネット上で公開・提供・蓄積し，茨城の民話を国内外の人たちに知ってもらい，次世代の人たちに遺していく。

## (イ) 事業内容

- ・茨城県に伝わる民話をデータベース化して県ホームページで公開。
- ・200話程度の民話を掲載予定。

**③バガボンド SAKURA-GAWA**

## (ア) 趣旨・目的

桜川市が舞台の古典芸能「能・櫻川」を，現代風の舞台作品として再構築し上演することで，その存在と「能」・古典芸能への興味を喚起する。

## (イ) 事業内容

- ・「能（謡曲）・櫻川」を多様な楽器を駆使した音楽劇に仕上げる。
- ・3月20日（水），県民文化センター小ホールで公演予定。（2回公演）

**3 平成 31 年度の方針**

- ・平成 29 年度に表彰した 3 件，平成 30 年度に表彰した 3 件のうちから県民等が参加しやすく波及性の高い事業を選定し，県で事業化に取り組む。